

国政報告

国会事務所 〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館536号室
TEL 03-3508-7266
FAX 03-3508-3536

大阪事務所 〒569-0804
大阪府高槻市紺屋町11-1
FKビル2F
TEL 072-685-7188
FAX 072-685-7189
E-mail: info@kentakenta.com

ケンタブログ
「政務官日記」配信中



Twitter

発行：自由民主党大阪府
第十選挙区支部
責任者：上田 光雄
《部内討議資料》

75歳以上の新医療制度

現役世代3割

はじまりは

出演 NEWSリアルタイム

後期高齢者医療制度 きっかけは自己負担3割 忘れ去られた現役世代

「これなんですよね！」

この原稿を議員会館の自室で執筆していたとき、裏面に掲載の記事(28日付東京新聞)を書いた担当記者がやってきました。彼は、「はじまりは現役世代」という見出しを見るなりひざを打ち、「私もこの視点の記事を書こうと思っていたんです」と言うのです。

感情的なテレビ報道が目立つ中、将来にツケを払わされる現役世代の視点の抜け落ちていることが、ようやく認識され出しました。

私は4月16日の「NEWSリアルタイム」(日本テレビ系列)に出演した際も、次のように意見を述べました=写真。

「30年前、8人の現役世代(64歳まで)で1人の高齢者(65歳以上)を支えていましたが、現在は3人で1人を支え、2025年には1.8人で1人を支えることになります。負担割合を決めても、それでも現役世代の負担はこれから急増するのですから、世代間の分担はもっと議論されるべきです」

そもそも新制度導入の発端は、現役



高齢者1人を支える現役世代の人数		
30年前	現在	2025年
8人	3人	1.8人

後期高齢者(長寿)医療制度の運営の仕組み



世代の急激な負担増でした。現役世代の医療費の自己負担率は、1割から2割を経て3割まで急速に上昇しました。一方、高齢者の負担率は1割のまま据え置かれました。

その際、より多くの負担を背負う現役・将来世代の負担割合を明確にすべきとの議論から、高齢者医療における負担割合を上図のように明確にする制度の導入が図られたのです。



松浪ケンタのプロフィール

厚生労働大臣政務官
衆議院議員 当選2回

【これまでの活動】
道州制をライフワークとして活動。党道州制調査会の事務局次長として「道州制第2次中間報告」のとりまとめに中心的に関わる。党国会対策副委員長、党厚生労働部会部会長代理などを経て現職。

【経歴】
元産経新聞記者、昭和46年生、大阪府出身、高槻市日吉台在住、家族は妻と長女、清風高校を経て早稲田大学商学部卒

【特技・趣味】
プロボクサーライセンス取得、空手初段。ギター、オートバイ、魚・カメの飼育、英語(TOEIC Aレベル)

<http://www.kentakenta.com/>